



環境負荷低減・資源有効利用に向けた取り組みを促進 国内ユニクロ・ジーユーでショッピングバッグを9月1日から有料化

株式会社ファーストリテイリングは、地球環境に配慮した持続可能な事業の構築と、お客様に安心して購入いただける商品、サービスの提供に向けた取り組みを進めています。この一環として、店舗運営で生じる環境負荷の低減と資源の有効利用をさらに促進するため、国内ユニクロ・ジーユーの全店舗で、使い捨てショッピングバッグの無料配布を終了し、9月1日(火)から1枚一律10円(税込)で販売します。

近年、プラスチックごみによる環境汚染への懸念が世界的に高まる中、ファーストリテイリングは2019年7月、ショッピングバッグと商品パッケージとしてお客様の手に渡る使い捨てプラスチックを、2020年中にグループ全体で2018年実績から85%(約7,800トン)削減する目標を設定しています。この実現に向けて、2019年9月から、プラスチック製ショッピングバッグを全世界で順次、再生紙など環境に配慮した紙製へと切り替えてきました。同時に、使い捨てショッピングバッグ自体の使用量削減を目指し、ユニクロ、ジーユーの全店舗でオリジナルのエコバッグを販売、マイバッグとして持参を呼びかけています。このたび、ユニクロとジーユーの国内全店舗に紙製ショッピングバッグが導入されるのに合わせ、ショッピングバッグの有料販売を開始し、さらにマイバッグの利用促進と、ショッピングバッグの使用量削減に努めていきます。

同時に商品パッケージについても、プラスチック製パッケージの撤廃および再生紙など環境に配慮した素材を使用した代替パッケージへの切り替えを順次進めています。2019年秋冬シーズンから、ユニクロのルームシューズでプラスチック製パッケージを廃止したのに続き、2020年春夏シーズンの「エアリズム」一部商品などでも、紙製ヘッダータイプのパッケージを導入しています。2020年秋冬シーズンからは、ユニクロの「ヒートテック」に加え、ジーユーの一部インナー商品でも紙製ヘッダータイプのパッケージへの切り替えを進めていきます。

ファーストリテイリングは、「環境への配慮」をサステナビリティ活動における重点領域のひとつに掲げ、あらゆる無駄をなくし地球環境への影響を最小限にする事業の構築を推進しています。今後も、サプライチェーン全体で使い捨てプラスチックなど廃棄物の削減と、リサイクル素材などの活用による資源の循環利用に向けた取り組みを進めていきます。



環境配慮型紙製ショッピングバッグ (左:ユニクロ 右:ジーユー)



ユニクロ オリジナルエコバッグ(M・Lサイズ 各 190 円(税抜))

ファーストリテイリングのサステナビリティ

ファーストリテイリングは、「服のチカラを、社会のチカラに。」というサステナビリティステートメントを掲げ、服のビジネスを通して社会の持続的な発展に貢献することを目指しています。事業の成長には、そこに関わる社会と地球環境が持続的に発展することが前提条件であるとの考えの下、「People(人)」「Planet(地球環境)」「Community(地域社会)」を、事業を支える 3 つのテーマに設定。各テーマにおける課題の解決に向けた 6 つの重点領域(「商品と販売を通じた新たな価値創造」「サプライチェーンの人権・労働環境の尊重」「環境への配慮」「コミュニティとの共存・共栄」「従業員の幸せ」「正しい経営」)で目標やコミットメントを掲げ、その達成に向けた活動を推進しています。

ファーストリテイリングのサステナビリティの取り組み詳細は、以下リンクからご覧いただけます。

<https://www.fastretailing.com/jp/sustainability/>